

津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

| | 予想される津波の高さ | | とるべき行動 | 想定される被害 |
|--------------|---|----------------|--|---|
| | 数値での発表 (発表基準) | 巨大地震の 場合の表現 | | |
| 大津波警報 | 10m 超 (10m<高さ) 10m (10m<高さ≤10m) 5m (3m<高さ≤5m) | 巨大 | <p>沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。</p> <p>津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。</p> | 木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。 |
| 津波警報 | 3m (1m<高さ≤3m) | 高い | <p>ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！</p> | 標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。 |
| 津波注意報 | 1m (20cm<高さ≤1m) | (表記しない) | <p>海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。</p> | 海の中では人は速い流れに巻き込まれる。繁殖いかだが流出し小型船舶が転覆する。 |

※震源が陸地に近いと津波警報が津波の襲来に間に合わないことがあります。「揺れたら避難」を徹底しましょう。

※津波は沿岸の地形などの影響により局所的に予想より高くなる場合があります。より高い場所を目指して避難しましょう。



津波からは逃げる!!

現在では津波予報の発表が早くなっていますが、震源が近いときには津波予報を聞いてからの避難では間に合わない可能性もあります。

大きな揺れを感じたときは、津波予報や避難勧告などを待たずに、早めの避難を心がけましょう。

- まず高台に逃げる。
- 徒歩で逃げて危険が去るまで待つ。
- 港や川岸には近づかない。
- 津波予報や避難勧告などを待たない。



情報伝達の流れ

